

国際バイオビジネス学科

1. 教育研究上の目的

本学科は、人類の生存に最も重要な食料を支えるバイオビジネスに関する教育・研究を行い、食料の生産、加工、流通、支援サービスを担う専門知識と実践力を身につけた国際的人材を養成する。

2. 教育目標

国際バイオビジネス学科では、国際的な感覚を持った農業・食品系企業の経営幹部や経営の中核を担う人材の養成を教育目標とし、具体的には、次のような者の養成を目指している。

- (1) 修得した知識や経験を活かし、新たな商品企画・開発を通じて市場開拓を実現できる者
- (2) 培ったコミュニケーション力や表現力を駆使し、新たな製品・サービスの特徴や強みを提案することができる者
- (3) 修得した知識やスキルを応用し、組織内の経営戦略や財務管理を担うことができる者
- (4) 培った論理的思考力や課題探求力を発揮し、既存ビジネスにおける課題の発見・解決やコンサルティングができる者

3. ディプロマ・ポリシー

国際バイオビジネス学科は、国際的な感覚を持った農業・食品系企業の経営幹部や経営の中核を担う人材を輩出するため、所定の単位を修得し、以下の要件を満たす能力を備えた学生に対し、学位を授与します。

- (1) 本学科に所定の期間在学し、教養教育による基礎的知識と本学科の教育理念「国際的に活躍できるビジネスパーソンの育成」のもとに編成された国際バイオビジネス学の体系的学問の内容と方法を理解し、それらの知識やスキルを用いて、激変する社会事象に立ち向かい行動する能力を身につけている。
- (2) 本学科における教育研究活動を通じて獲得した能力を、企業・組織への貢献を通じて国際・地域社会に還元し、その発展に寄与する能力を身につけている。
- (3) 卒業論文の作成等を通して、製品・サービスの企画・開発、経営戦略、財務管理、マーケティング、情報処理などの専門的能力および知識の活用力、論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現力、コミュニケーション力などの基本的なビジネス能力を身につけている。

4. カリキュラム・ポリシー

国際バイオビジネス学科は、ディプロマ・ポリシーに示された人材を育成するため、以下の方針の下に教育課程を編成します。

- (1) 語学および学部共通科目では、実用英語科目や初修外国語科目を配当し、学科における専門教育を受けるに当たり必要な基礎的教養および国際食料情報学の基礎を修得させる。
- (2) 学科専門基礎科目には、学科専門科目のうち「バイオビジネス経営学総論」、「バイオビジネス経営環境論」、「バイオビジネス経営情報論」、「バイオビジネス経営管理論」、「バイオビジネス経営組織論」、「バイオビジネスマーケティング論」、「バイオビジネス会計学」など基礎的な科目を配当し、経営およびマーケティング・情報に関する基本的学修を行う。
- (3) 学科専門コア科目には、学科専門科目のうち「フードビジネス論」、「地域農業活性化論」、「バイオビジネス経営分析論」、「オペレーションズ・リサーチ」など応用的な科目を配当し、経営およびマーケティング・情報に関する発展性のある学修を行う。
- (4) 演習科目では、実社会で適応可能な能力を身につけさせるため、アクティブラーニングやゼミ活動を通じて、能動的な学びを中心に据えた実践的な学修を行う。

5. アドミッション・ポリシー

国際バイオビジネス学科では、食料の生産、加工、流通等にかかわる経営管理やマーケティング、情報処理などの知識を身につけた農業・食品系企業の経営幹部を目指し、国内外で広く活躍したいと考える人材を養成します。そのため、本学科では次のような学生を求めています。

- (1) 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。具体的には高等学校で履修する国語、数学、外国語、社会、理科などの基本的な教科について内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。
- (2) 物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを的確に表現し伝えることができる。
- (3) 食料の生産、加工、流通等にかかわる経営管理・マーケティング、情報処理等に関心を持ち、農や食の分野に積極的に貢献する意欲・態度を有している。